『持続可能な未来の創生』
～長野県白馬高等学校「３つの方針」～

学校教育目標

真理と正義を愛し、勤労と責任を重んじ、創造力と自主的精神に充ち、地域と国際社会に貢献できる個性豊かで心身共に健康な人材の育成を目指します。

１　生徒育成方針

本校は、北アルプスの山麓に位置し、古来の塩の道・糸魚川街道の暮らしの歴史や現代のスキー・登山等のアウトドアスポーツ、豊かで美しい自然の姿などを楽しむことができ、そのために訪れる国内外の観光客と間近に触れ合うことができる地にあります。大自然に囲まれた国際色豊かなＨＡＫＵＢＡというフィールドを活用し、地域との協働によって学び合うことのできる数少ない学校のひとつです。

多様な文化、考えに触れる中で地域の素晴らしさを理解し自分の考えを発信するとともに、地域の課題解決に主体的に行動できる生徒の育成を第一に考え、すべての授業を通じて次の「３つの力」を育みます。

～「３つの力」～

○ 課題解決能力（読解力、情報収集・分析力、課題発見力、論理的思考に基づく創造力）
○ 協働性（多様性を尊重し、倫理観をもって協働できる実践力）
○ コミュニケーション力（建設的批判やプレゼンテーションで互いを高め合える対話力）

特に、普通科（文理コース・教養コース）では、進路選択に役立つ確実で総合的な学力を身につけた生徒として卒業させます。

また、国際観光科（国際コース・観光コース）では、実践的な英語力をベースに国際的な視野を持ち、ホスピタリティーの心構えを身につけ、観光をはじめ様々な分野で活躍できる生徒として卒業させます。

２　教育課程編成・実施方針

グローバルで将来の地域創生の担い手を生み出す先進的な教育課程を編成し、「主体的・探究的な学び」をすべての教科で実践します。

(1) 何を学ぶか【特色ある学び】

一般教科に加え、学校設定教科・科目を通じて、地域をフィールドにした生きた知識を学びます

＜普　通　科＞

代かきタイム、野外と教養、時事問題、環境Ⅰ・Ⅱ、ニュースポーツ、情報活用、ビジネス基礎、簿記、総合実践

＜国際観光科＞

観光Ⅰ・Ⅱ、グローバル観光、Hakuba Business、山岳基礎、スポーツビジネス、観光地理、日本史探究、環境、アウトドアスポーツ、観光コミュニケーション英語、Asian LanguageⅠ・Ⅱ

(2) どのように学ぶか【学びのスタイル】

対話を多用した主体的・探究的で深い学びを通じ、未来を拓く力を身につけます

○ 教科横断型のＰＢＬ（プロジェクト学習）による主体的な学びを実践します
○ ＳＤＧｓをテーマに他者と協働して地域課題解決策を実現する探究的な学びを実践します

(3) どのように学びの成果を評価するか

高校魅力化評価システム、観点別学習状況調査等を活用し、多様な視点での学習評価を行います

○ 生徒の発表は、ルーブリック表によるパフォーマンス評価を行います
○ 生徒個人の学びの成長は、ｅポートフォリオにより「振返り」と「改善」を行います
○ 学びの成果は、「はくばフォーラム」「しろうま祭」など様々な機会に地域に向け発信します

３　生徒募集方針

世界水準の山岳リゾートの恵まれた地域資源（自然環境・人材・企業）を最大限に活用し、キャリアが高まる学びに魅力を感じる生徒をお待ちしています。

・本校の特色教育（異文化理解・観光・環境・山岳スポーツ）に強い関心と高い志をもつ生徒
・地域課題に当事者意識をもって解決しようとする生徒
・地域と協働した学びにより地域を支え、あるいは世界を舞台に活躍しようとする意欲のある生徒

『持続可能な未来の創生』
～長野県白馬高等学校「３つの方針」～

学校教育目標

真理と正義を愛し、勤労と責任を重んじ、創造力と自主的精神に充ち、地域と国際社会に貢献できる個性豊かで心身共に健康な人材の育成を目指す。

育てたい生徒像

多様な文化、考えに触れる中で地域の素晴らしさを理解し、自分の考えを発信するとともに、地域の課題解決に主体的に行動できる生徒の育成を目指す。

全国募集

普　通　科

基礎力養成から四年制大学進学まで、幅広いニーズに対応。確かな基礎学力を身につけ、地域の自然を教材に総合的な学力を向上させます。

未来につながる２つのコース

◎ 文理コース
- 主に四年制大学や短期大学、医療系の進学、公務員を目指す生徒に対応

◎ 教養コース
- 主に専門学校進学や就職を目指す生徒に対応

国際観光科

地域の恵まれた観光資源を活かし、生きた実践的な英語力の育成をベースに、観光の知識や技能を学び、ホスピタリティーの心構えを身につけます。

未来につながる２つのコース

◎ 国際コース
- 主に四年制大学の国際系、外国語系、観光系などの大学への進学を目指す生徒に対応

◎ 観光コース
- 主に観光分野に興味関心があり、観光関係への進路を目指す生徒に対応

目標実現に向けた取組みの方針

「グローバルで将来の地域創生の担い手を生み出す、先進的な教育課程の編成および実践。」

何ができるようになるか

新しい時代に必要となる資質・能力を育成する

・課題解決能力　・協働性　・コミュニケーション力

何を学ぶか【特色ある学び】

学校設定教科・科目を中心とした社会に開かれたカリキュラム

＜普通科＞

代かきタイム、野外と教養、時事問題、環境Ⅰ・Ⅱ、ニュースポーツ、情報活用（商業：ビジネス基礎、簿記、総合実践）

＜国際観光科＞

観光Ⅰ・Ⅱ、グローバル観光、Hakuba Business、山岳基礎、スポーツビジネス、観光地理、日本史探究、環境、アウトドアスポーツ、観光コミュニケーション英語、Asian Language Ⅰ・Ⅱ

改善

どのように学ぶか【学びのスタイル】

対話を多用した主体的・探究的で深い学びを通じ、未来を拓く力を身につける

○教科横断型のＰＢＬ（プロジェクト学習）による主体的な学び

○ＳＤＧｓをテーマに他者と協働して地域課題解決策を実現する探究的な学び

どのように評価するか　多様な視点での学習評価による学びのＰＤＣＡサイクルの確立

○高校魅力化評価システム ○観点別学習状況調査 ○パフォーマンス評価（ルーブリック表による） ○生徒個人の学びの成長（e ポートフォリオによる学びの振返りと改善）

支援＆参画

白馬・小谷村を中心にした地域ぐるみの支援

◇学校運営協議会（コミュニティ・スクール）
地域と協働した新しい姿の学校づくり

◇みらい協育サポーター
実社会を学び、自分の未来を創る

地域との協働による高等学校改革の推進

◇国際交流事業
自分の殻を破り、世界の広さを体感する

◇公営塾「しろうま學舎」
役に立つ力を身につけ、可能性を広げる

◇村営寮「しろうま Pal House」
集団生活を通じて協調性と自立心を養う

◇白馬コンソーシアム（文部科学省指定事業）
地域と協働した授業・PBL 学習の推進